

秋の星座たち

秋の四辺形はペガサス座の身体の部分にあたる四辺形のことです。それぞれの辺を伸ばした先に星座や星を見つけることができます。秋の一等星はみなみのうお座のフォーマルハウトですが、古代エチオピア王国のギリシャ神話にまつわる登場人物たちが、北から東の空を舞台に勢揃いしています。



夏の大三角

夏から冬にかけて大きな三角形が夜空に輝いています。七夕で有名なあの星もいてますので、ぜひ見つけてみてください！

こと座のベガと、わし座のアルタイル、それにはくちょう座のデネブの3つの1等星をむすんだ尖った三角形が夏の大三角です。

こと座のベガは織姫、わし座のアルタイルは彦星のことですので、この二つの星の間には天の川が流れています。はくちょう座はその天の川の真ん中で今にも飛び立とうと羽を広げていますよ。

冬のダイヤモンド

冬の星空にもたくさんの人気スター(星座)が勢ぞろいしています。

オリオン座は有名ですね。

ペテルギウスとリゲルという2つの1等星がありますが、オリオン座以外で1等星が2つあるのはケンタウルス座とみなみじゅうじ座の3つだけなんですよ。

冬のダイヤモンド

- ①オリオン座(リゲル) ②おうし座(アルデバラン)
- ③ぎゅうしゃ座(カペラ) ④ふたご座(ポルックス)
- ⑤こいぬ座(プロキオン) ⑥おおいぬ座(シリウス)



平城宮跡ゆかりの歌

「天の原 ふりさけ見れば 春日なる
三笠の山に 出でし月かも」
阿倍仲麻呂

唐から帰る際に、望郷の想いを歌ったもの

「かささぎの 渡せる橋に 置く霜の
白きを見れば 夜ぞふけにける」
大伴家持

平城宮に積もる霜を天の川の様子に例えた歌